

100円学食 笑顔広がる

八工大 学生対象、週2回提供

八戸工業大学は14日、学生の経済的負担軽減と健康維持を目的に、学内食堂で「100円学食」の提供を始めた。本年度の毎週火、木曜、日替わりランチや麺類など9種類を計200食限定で、ワンコインで提供する。建設コンサルタントの日本振興(本店大阪市)が社会貢献の一環で事業費を全額負担した。通常の半額以下の料金で昼食をとることができるとあって、初日から大勢の学生が利用した。

100円学食で提供するメニューの通常価格は、日替わりランチと唐揚げ定食が500円、麺類(ラーメン4種類、かけうどん、かけそば)300~450円、カレーライスが480円(いずれも税込み)。

14日は午前11時45分の食券販売開始前から多くの学生が集まり、販売機近くに

(20)「板柳町出身」は「とても安くて助かる。下宿生活で食費などにお金がかかるのでありがたい」と笑顔を見せた。

同大の担当者によると、昨今のコメを中心とした食料費の価格上昇で、定期的に学食メニューを値上げしており、学生の負担が増し



八工大の学内食堂で始まった「100円学食」を味わう学生たち

ているという。同大卒業生で日本振興東北支店(仙台市)業務課の渡邊浩平係長(37)は「学食支援は会社初の取り組みで、社のPRに より人材確保につながる狙いもある。自分も学生時代に食費で苦労したので、何かしら現役学生に貢献できれば」と話した。

(千葉真由美)

※「この画像は該当ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」